鳥取小学校　地域コーディネーター通信

つむぎ

学校・家庭・地域をつなぎ
子どもの
学びをふかめる
コーディネーター通信

発行者：釧路市立鳥取小学校
地域コーディネーター　大越祥子
塚部由美恵
発行日：平成31年1月25日　第31号

みなさま新年あけましておめでとうございます。長年慣れ親しんだ平成も残りわずかとなりましたね。今年の冬は例年より雪が少なく暖かく感じます。大雪は困りますが、子供たちが雪遊びやソリ遊びができないのは残念です。８日から学校リンクもオープンしました。アイスホッケー同好会の保護者や関係者の皆様、先生方によって立派なリンクが完成！冬休み中は、子どもたちが楽しそうに滑っている姿も見受けられ、３学期からスケート授業も始まりました。リンクからは子どもたちの元気な姿を見る事ができ、私たちも嬉しくなりました。休みの日は白赤旗が立っていなければ、休みの日も使用する事ができます。保護者や地域の方も是非ご利用下さい。今年も様々な活動を通じて，地域と学校のより良い連携のため、二人で力を合わせてがんばってまいります。

てらこや餅つき　～多世代交流となりました～

１月５日（土）鳥取地区集会所にて、「てらこやもちつき会」が開催されました。『米屋きちべい』さんにもち米を提供して頂き、餅つきのお手伝いまでしてくださいました。大人が準備している間子ども達は勉強し、用意ができたら順番に餅つきを体験しました。そのあとはつきたてのお餅を丸め、ぞうにやあんこ、きなこや砂糖醤油など、それぞれ好きな食べ方でお餅を味わい、子供たちからは、つきたてのお餅のやわらかさに感動して、おかわりをする子が続出でした！たくさんの保護者や地域の方々にもお手伝いいただき、とても賑やかで、多世代交流にもなりました。最後に、残りのお餅をお土産にもらいみんで帰っていきました。

コミスク委員長の紹介

今回はコミュニティ・スクール（コミスク）校として、委員長の山口　隆さんにインタビューしました。初めに鳥小の子どもたちの印象についてお伺いしたところ、「地域に根付いている学校であり、先生たちも地域の方とうまく連携がとれているため、コミスク校の中でも中身が大変充実しているという印象です。子どもたちは、ボランティアの方々にも支えられており、これからも神社などの地域との関わりや、コミュニティの中で育ってほしいと思います。」また、親父会や鳥小の OB が代々定着しており、力を注いでくれている事にも地域の根強さを感じ取れました。今後コミスクで取り組みたい事については、「鳥小は全国に発信できるモデル校になるので、全国に発信できるようなしかけをしていきたい。」と終始笑顔で話してくださいました。

PTA 主催アイスキャンドルのご案内

毎年恒例、PTA 事業部主催「アイスキャンドル」が、今年は２月 23 日（土）１６時から学校のリンクで行われます。氷上運動会のような形でチームに分かれ、リンクの上で綱引きやカーリング、大人気のお菓子拾いなどを行います。お菓子拾いは大人の部もあり、お菓子だけではないものが撒かれたりもします。（昨年は大盛り上がりでした 笑）最後にアイスキャンドルに火を灯し、キャンドル鑑賞しながら、あたたかいラーメンを食べる予定となっています。参加児童については事前に申し込みが必要です。後日事業部より申し込み用紙が配布されます。

沢山の地域の方、保護者の皆さんのご参加、お手伝いをよろしくお願い致します。

図書館教室のお手伝いに行ってきました

図書館の「自由研究のプロ」日野さんが「冬休み自由研究・図書館教室」をコア鳥取で行いました。自由研究が苦手な子はもちろん、今までとは違うものに挑戦したい子など、日野さんがアイディアを出しながら、テーマ探しから、調べ方、最後のまとめ方まで全体の流れをアドバイスして下さいました。

コーディネーターは図書館で本を一緒に探したり、調べ物のお手伝いをしました。まとめでは、自分たちで工夫をし、画用紙などをつなげ、写真やイラストなど、誰が見ても分かる、完成度の高い仕上がりになりました。今はすぐネットで調べてしまいがちですが、自分で本を手に取り、調べ、考えながら学ぶことの大切さを、改めて考えさせられました。